

学校長の言葉

まず始めに…

小学校生活最後の年度末、3月3日から昨日までの期間、学校生活が12日も無くなってしまったことを本当に申し訳なく思っています。皆さんは今日の卒業式をどのような気持ちで迎えたでしょうか…この期間、自宅で卒業に向けて色々なことを考えたことと思います。普段何気なく過ごしていた日常が実は有難いことなのだと感じた人もいると思います。

このような形の卒業式となりましたが、皆さんが小学校生活を終えて、立派に成長してこの桜台小を巣立っていくことに違いはありません。小学校生活を終え卒業したことを、改めて保護者の方々に自分の言葉でしっかりと報告してください。

さて皆さん、突然ですが、皆さんがこの世に生まれて初めて貰ったプレゼントは何だと思っていますか…

今、手にした証書のホルダーを開いてみてください。自分の生年月日と名前が記されていますね。私は、そのプレゼントとは証書に書かれている自分の名前だと思うのです。皆さんのことを誰よりも大切に思う親御さんの願いが自分の名前には込められています。そのことを忘れずに、時には自分の名前を確かめながら胸を張って生きて行ってほしいと思います。

皆さんが受け取った卒業証書には、友達や先生方と共に過ごした6年間の思い出が、たくさんつまっていることでしょう。思い出は人生の宝物となります。ふり返れば、皆さん一人ひとりの胸の中にはその時に感じたうれしさや喜びがあるはずです。悔しさや悲しさもあるかもしれませんが、その思いこそが、皆さんの心に刻まれた成長の証だと私は思います。

「人はそんなに強くはない。でも、人は強くなれる」

人は、人とのかかわりの中で強くなっていく、育っていくのです。

教えてくれた人、励ましてくれた人、応援してくれた人、ほめてくれた人、認めてくれた人、叱ってくれた人、守ってくれた人、気づかせてくれた人、やる気にさせてくれた人… そういった人たちが自分を育ててくれているのではないのでしょうか。

皆さん、お世話になった方のお顔を思い浮かべることができますか… 感謝の気持ちを決して忘れないでください。

浮かんだ顔の中に、今、周りに座っている友達の顔はありましたか… 友達を、仲間をこれからも大切にしてください。

さあ、4月からは、いよいよ中学生です。皆さんには無限の可能性があります。是非、自分の夢を大事にしてください。人が夢を叶えようと本気で思ったときに夢は目標へと変わります。希望をもって、自分を信じ、仲間を信じて、一步一步努力を重ねていくことを願っています。思い続け、努力し続ければ、きっと夢は叶います。桜台小の先生や職員はみんな、あなたたちのことを心から応援しています。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

令和2年3月19日

校長 小宮 健